



子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<p>寒くなりインフルエンザで体調を崩す子どもいた。いろいろなお正月あそびに挑戦して頑張っていた。自分なりの目当てを決めて失敗をしても繰り返し挑戦し続ける姿見られた。節分のお面、豆入れ作りを積極的に行い節分を楽しみに待つ姿がある。</p>		<p>・友だちと共通の目的に向かって、互いに力を出し合って活動し、やり遂げた満足感が味わえるようにする。                  ・自分の力を十分に発揮したり、友だちと協力したりしてあそびや活動を進めていく。                  ・冬の自然事象や身のまわりの出来事に興味や関心をもつ</p>	<p>・誕生会・身体測定・避難訓練                  ・英語・リズム・リトミック                  ・お店屋さんごっこ                  ・小学校交流</p>	
内容		環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>生命・情緒 健康・人間関係・環境・言語・表現 養護・教育</p>	<p>・手洗いやうがい、衣服の調節など、冬の健康に必要な習慣や態度が身につくようにする。                  ・一人一人が自分の持てる力を発揮しながらあそびや活動に取り組み、やり遂げた満足感が味わえるようにする。また、友だちのよさに気づき、認め合いながら、自信を持って生活を進められるようにしていく。                  ・寒さに負けず戸外で体を動かしてあそぶ。                  ・自分なりの目当てを持ち、繰り返し挑戦する。                  ・自分たちで生活の仕方やあそびを考えたり工夫したりして、見通しをもって行動する。                  ・友だちと体を動かしたり、ルールのあるあそびをしたりすることを楽しむ。                  ・互いの思いや考えを受け入れあいながら、あそびや活動を進める楽しさを味わう。                  ・年下の友だちとのかかわりや交流を通して、思いやりの気持ちをもつ。                  ・節分の由来を知り、豆まきの行事に積極的に楽しんで参加する。                  ・冬の自然事象に興味や関心をもつ。                  ・小学校との交流を楽しみ、就学や小学校生活に期待をもつ。                  ・友だちとあそび中で、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の話に耳を傾け、思いを聞き入れたりする。                  ・ひな人形作りを楽しむ。</p>	<p>・室内の温度・湿度をこまめにチェックし、換気をし快適に過ごせるようにする。                  ・あそびや活動の中で、子ども同士が刺激を受け合えるような環境を工夫する。                  ・天気の良い日は戸外活動を十分に行う。                  ・視覚物(カレンダー・時計)などでわかりやすく知らせる。                  ・あそび始めるように機会をしっかりともっていくようにする。                  ・受け入れあいながらあそび姿を言葉に出して認め、自信につなげていく。                  ・園庭あそびや散歩など交流する機会をもつようにする。                  ・手作りした鬼のお面や三方をもって楽しく行事参加できるようにする。                  ・冬の事象に触れられるようする。                  ・小学校交流の機会をもつ。                  ・保育士や友だちと過ごす中で心のつながりが感じられるようなことばかけをする。                  ・イメージが持てるようにする。(絵本・紙芝居など)</p>	<p>・汗をかいている子には汗を拭くことや、必要なら着替えることを伝え、自ら汗の処理ができるように促す。                  ・自分の考えを主張するだけではなく、友だちの考えをよく聞き、自分と同じ部分、違う部分に気づけるようにする。互いの考えを受け入れあうことで、活動やあそびが楽しくなったことを十分に認めていく。                  ・自分の成長を感じられるように、できたところや努力しているところを本人や周りの友だちにも知らせ、自身が持てるようにしていく。                  ・体を動かしてあそぶ心地よさや、ルールを守ってあそぶ楽しさを感じられるよう、あそび込んできたドッジボールや鬼ごっこなどを行う機会をもっていく。                  ・豆まきの由来を伝えたり、鬼に関する絵本などを読み、イメージを膨らませて行事に参加できるようにする。                  ・子どもたちの興味が膨らむような図鑑などを用意する。冬の不思議を発見できた時は、その気づきに共感し冬ならではの現象を一緒楽しむ。                  ・あそびなど自分たちで工夫しながら進めていく姿を見守り、支える。                  ・一人一人がイメージが持てるようにし、子ども自身の表現を大切にす。</p>	<p>・</p>
	<p>食育</p>	<p>・節分に使われる『豆』に興味や関心をもつ。                  ・うどん作りを体験する。</p>	<p>・いろいろなまめも紹介する。                  ・準備をしっかりする。</p>	<p>・友だちと協力しながらうどん作りに取り組みすることで、作る楽しさを味わい、食への興味が深められるようにする。</p>
			<p>地域とのかかわり</p>	<p>家庭との連携</p>
			<p>・散歩時の挨拶                  ・小学校交流(初音小)</p>	<p>・感染症について情報交換をし、体調について密にコミュニケーションを取っていく。                  ・学校見学についてのお知らせ                  ・卒園文集の回収のおねがいをしていく</p>
			<p>時間外保育</p>	
			<p>・年下の友だちに親しみをもち、かかわりを持ちながら楽しく過ごせるようにする。</p>	